

組み立てマニュアル



三脚を出っ張りがある部分を北極星に向けて立てます。



赤道儀本体を乗せます。赤緯モーターが北側にくるようにします。三脚と赤道儀の止めネジはきつく締め
ないで、赤道儀が手で回転するくらいで仮しめします。



ウエイトシャフトを取り付けます。ネジが極軸望遠鏡のレンズをふさがないように注意します。



ウエイトをつけます。一番はしでちょうどいいです。



鏡筒ユニットを載せ、2箇所をちょうナットで留めます。



バランスをとります。東側がやや重くなるようにします。ただし、クランプを緩めて、動くほど重くしてはいけません。東側の星を撮る場合は、ウエイト側を、西側の星を撮る場合は望遠鏡側をやや重くします。



カメラ電源をセットします。



メインレンズのヒーターを巻きます。



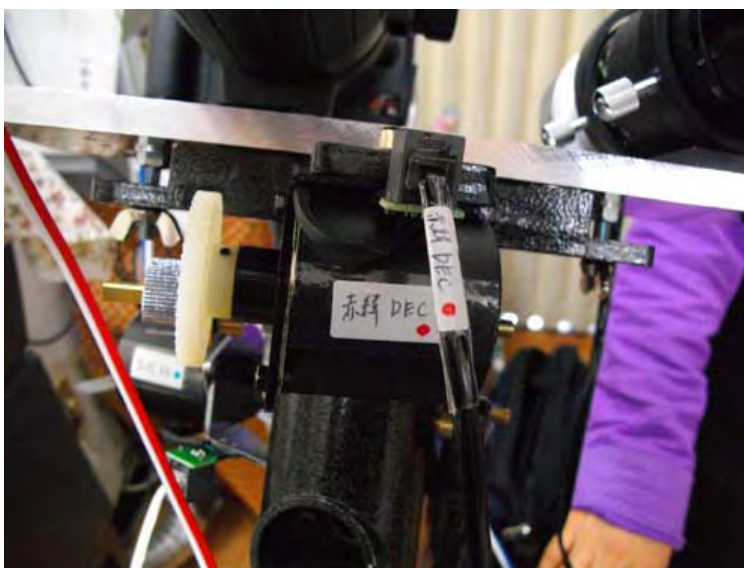
ガイド鏡のヒーターを巻きます。



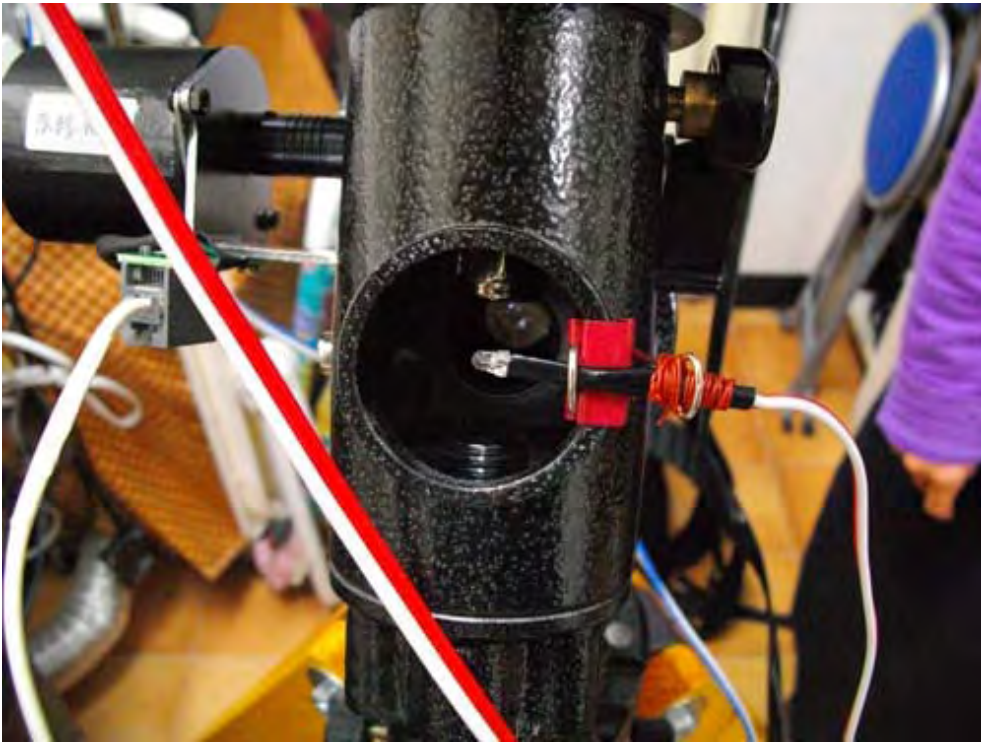
オートガイダーケーブルを挿します。



赤経モーターのケーブルを挿します。



赤緯モーターのケーブルを挿します。



極軸望遠鏡の照明用 LED をつけます。



すべての配線が終わったら、ケーブルを付属のマジックテープ 2 本で三脚に固定します。ケーブルを緩ませて留めるようにします。望遠鏡を動かして、ケーブルにテンションが、かからないかチェックします。



バッテリーから電源を取ります。バッテリーはセットには付属しません。



コントロールボックスの様子。モータドライブのスイッチがNの位置にあり、緑のLEDが点灯していることを確認します。またヒーターの赤LED2つが点灯していることを確認します。3つのボリュームの位置はだいたい写真の位置でよいです。

ヒーターはほんのり暖かい程度で十分です。

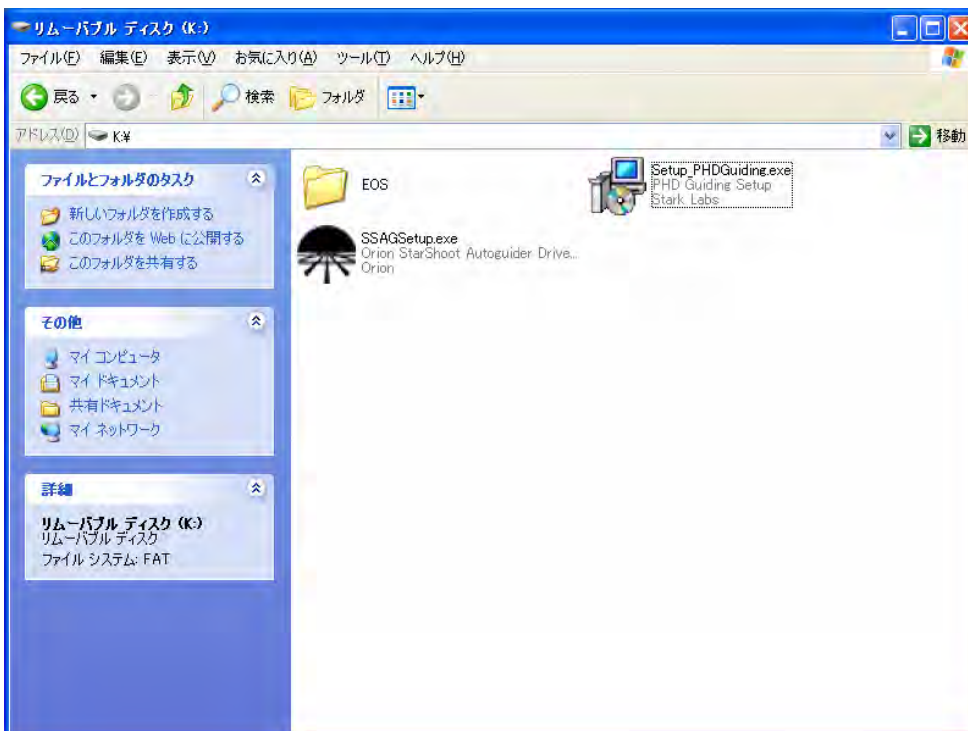


赤経モーターを手で触り、動いていることを確認します。

以上で、組み立て完了です。

ソフトウェアのインストール

USB メモリの中には必要なソフトが入っています。



SSAGSetup.exe をダブルクリックして、オートガイダーのドライバをインストールします。

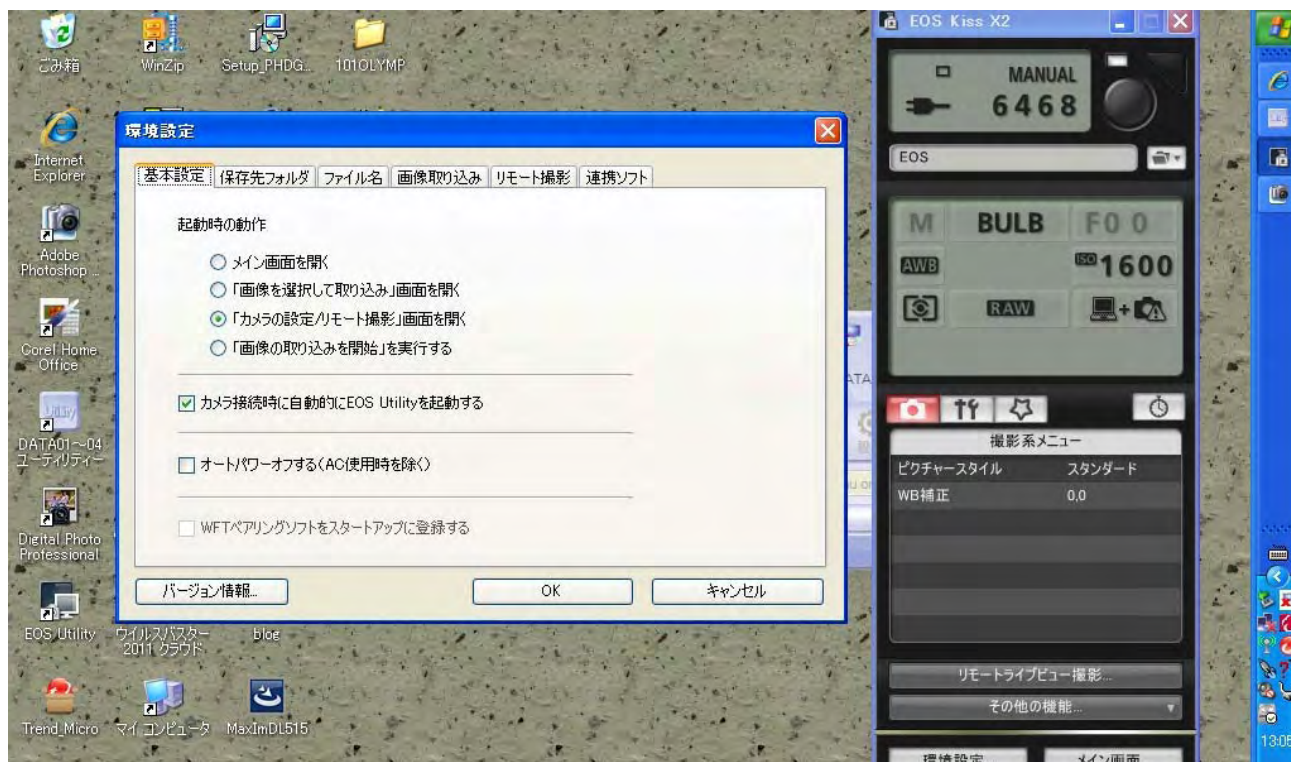
SetupPHDGuiding.exe をダブルクリックして、PHD Guiding をインストールします。

EOS フォルダの中の setup.exe をダブルクリックして EOS ユーティリティーをインストールします。

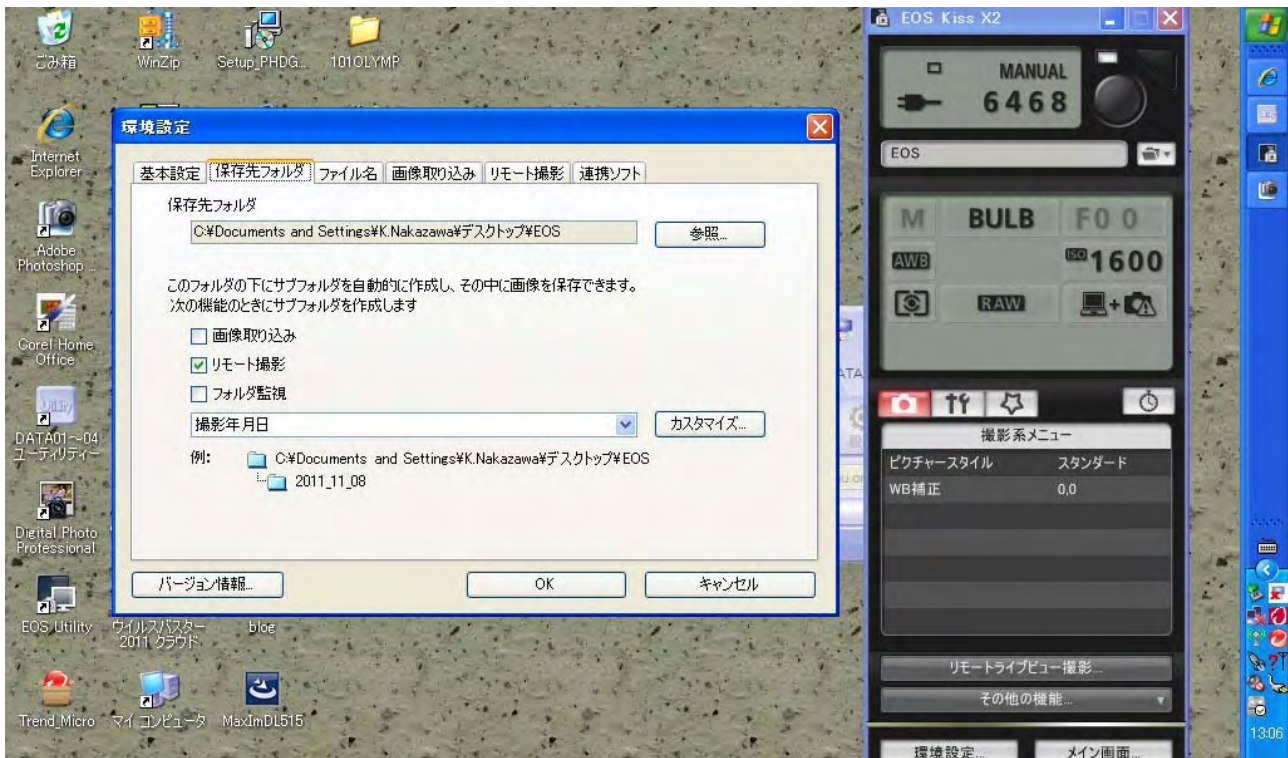
ソフトウェアの初期設定



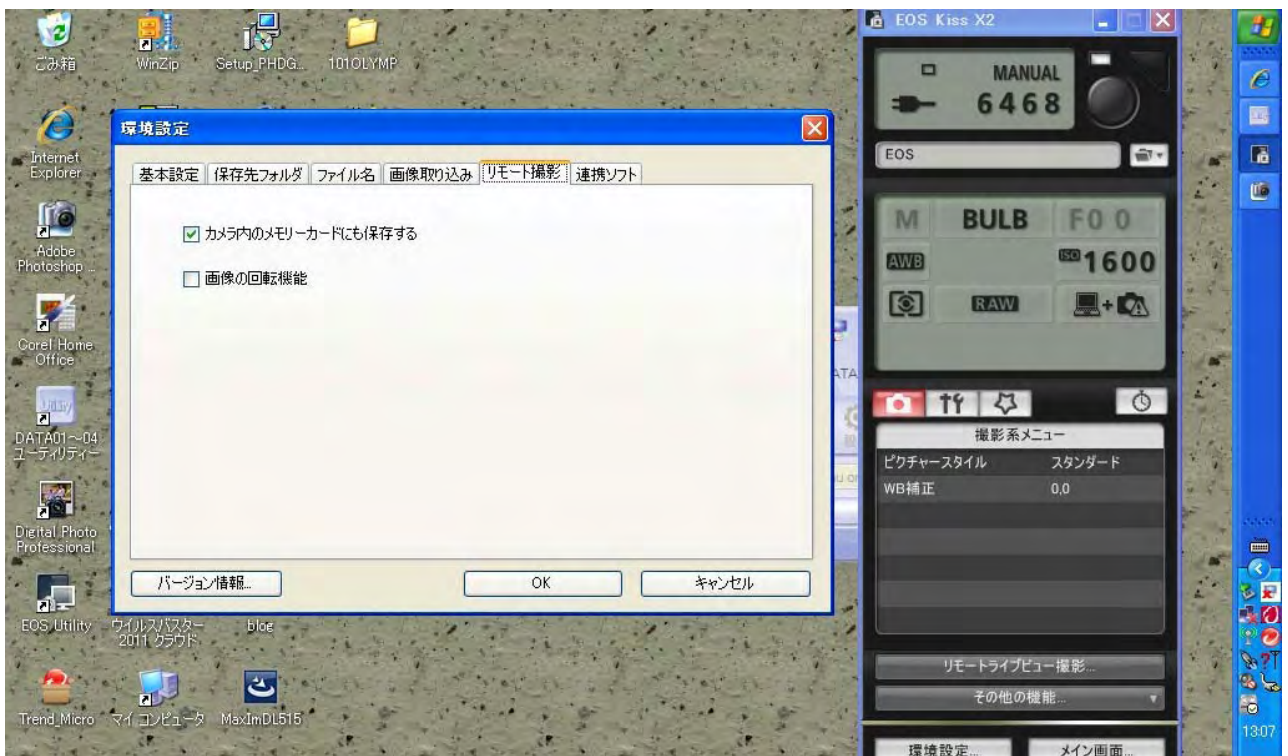
カメラとパソコンを USB ケーブルで接続し、カメラの電源を入れます。



EOS ユーティリティを起動し、環境設定ボタンをクリックし、基本設定を上記のようにします。



保存先フォルダを設定します。パソコン内ならどのフォルダでも良いです。



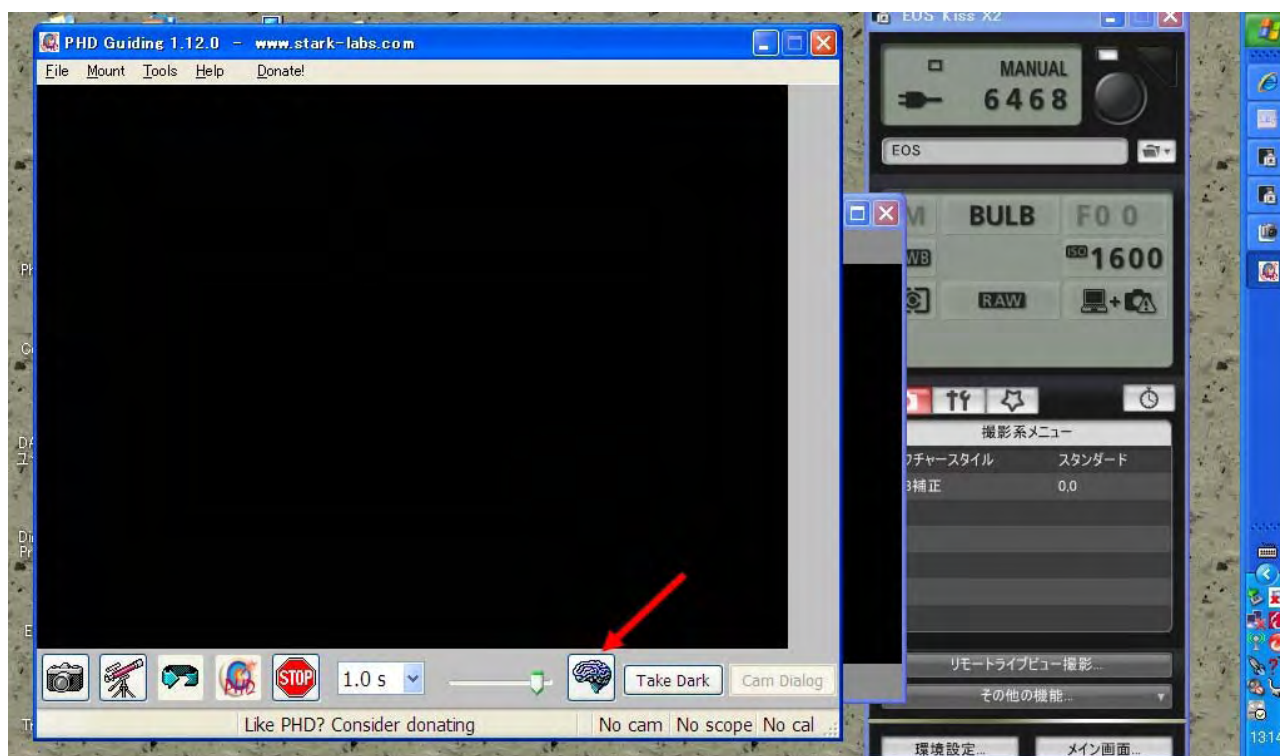
リモート撮影の設定

以上で、EOS ユーティリティの設定は終了です。

次に PHD Guiding の設定をします。

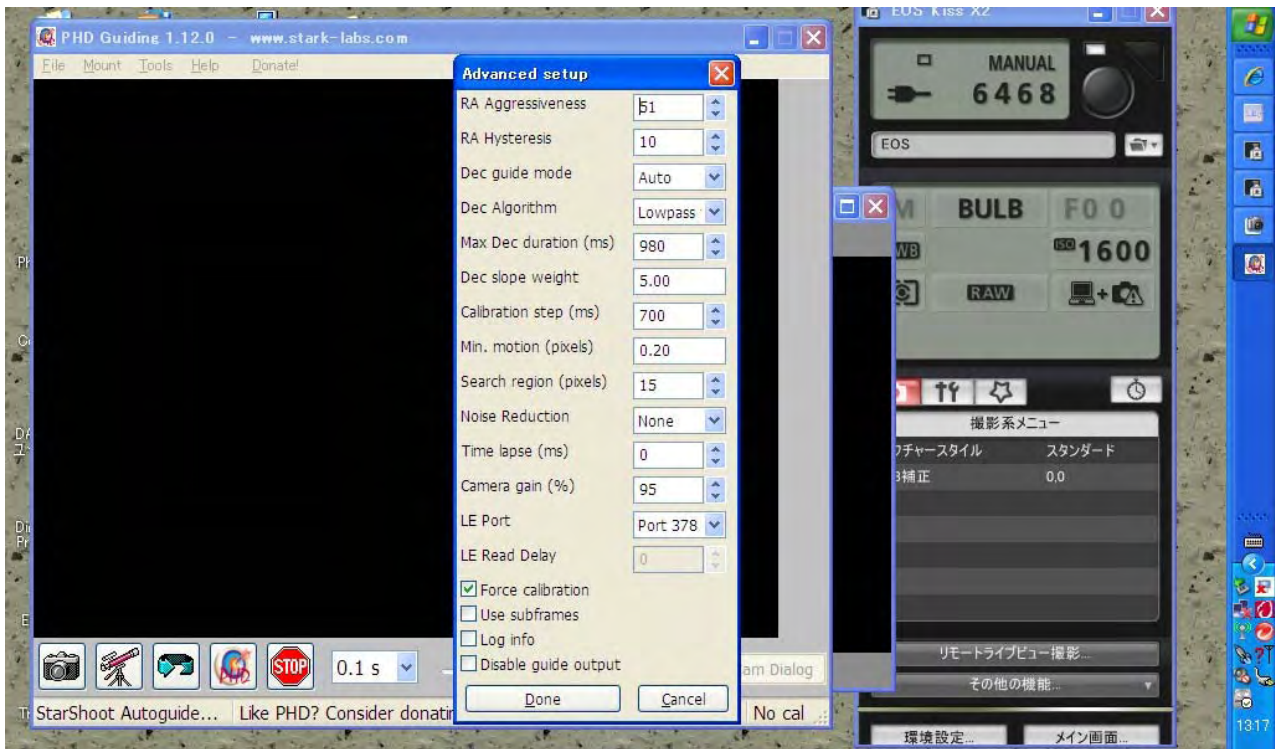


オートガイダーとパソコンを USB ケーブルで接続します



PHD Guiding を起動します。

脳みそのボタンをクリックし、以下のように設定します。



以上でソフトウェアの設定は終了です。